

# 地域

平成22年度  
参加者募集

# 再生実践塾



2010

全国の地域づくり事例に学ぶ、集中3日間講義



## 北海道 札幌市

まちづくりにおける協働の役割  
7/12(月)~14(水)

## 新潟県 燕三条地域 (三条市、燕市)

地場産業の再生と地域活性化  
9/6(月)~8(水)

## 香川県 小豆島町

文化・芸術によるまちづくり  
9/28(火)~30(木)

明日に伝えたい  
思いを力に



## 和歌山県 田辺市

都市農村交流を通じた地域づくり  
10/27(水)~29(金)

## 熊本県 熊本市

まちなかに人を呼び込む仕掛けと仕組み  
11/17(水)~19(金)

# 地域再生実践塾とは……



**産業構造の変化**  
経済のグローバル化など

**少子高齢化の進展**  
労働力人口の減少など

地域の自立が  
必要

(財) 地域活性化センターでは、  
地域再生の方法について様々  
な視点から考えるワークショップ  
「地域再生実践塾」を全国5カ  
所で開催します。

**地域再生実践塾  
のポイント**

住民と行政の  
**協働**

**地域資源**  
の活用

**地域経営**  
の展開



## 平成22年度 地域再生実践塾 募集要項

### テーマ・開催地・開催日

	テーマ	開催地	開催日	申込締切
第1回	まちづくりにおける協働の役割	北海道札幌市	7月12日(月)～14日(水)	6月21日(月)
第2回	地場産業の再生による地域活性化	新潟県燕三条地域 (三条市・燕市)	9月6日(月)～8日(水)	8月16日(月)
第3回	文化・芸術によるまちづくり	香川県小豆島町	9月28日(火)～30日(木)	9月7日(火)
第4回	都市農村交流を通じた地域づくり	和歌山県田辺市	10月27日(水)～29日(金)	10月6日(水)
第5回	まちなかに人を呼び込む仕掛けと仕組み	熊本県熊本市	11月17日(水)～11月19日(金)	10月27日(水)

### 対象者

地方公共団体、商工会、商工会議所、NPO等、地域再生に取り組もうとしている人及び取り組んでいる人

### 受講費用

無料(ただし、開催地までの往復の交通費、宿泊費、飲食代などは参加者ご負担となります。宿泊については、各自の手配となりますが、香川県小豆島町及び和歌山県田辺市については、指定宿泊先を事務局で一括手配いたします)

### 申込方法

申込書を上記の各回申込締切までに郵送またはメール、FAXで送付してください。申込書は裏表紙に様式を掲載してあるほか、右記の当センターホームページからダウンロードできます。なお、申込受付後、受講決定の案内を送付しますが、届かない場合には右記までご連絡ください。

### 募集人数

各回40名～50名(会場の都合等による変動があります。先着順、複数回申込可。申込多数の場合は、全日程参加できる方を優先します)

### 申込先・問い合わせ先

財団法人 地域活性化センター 振興部 業務課  
〒103-0027  
東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル13階  
TEL (03)5202-6136  
FAX (03)5202-0755  
E-mail gyoumu@jard.jp

URL <http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp>



**地域再生実践塾**

2010 全国の地域づくり事例に学ぶ、集中3日間講義

# まちづくりにおける協働の役割

## Sapporo City



### 趣旨

現在、全国の地方自治体の中には、地方分権の進展や、厳しい財政状況に加え、住民ニーズの多様化が進んだことにより、既存の行政サービスでは解決することが困難な、様々な課題を抱えている自治体が少なくありません。そこで、新たなまちづくりの手法として、行政と住民、NPO等の団体が連携し、対等な立場で責任を共有しながら地域課題の解決に取り組む「住民協働」の動きが広がっております。



北海道札幌市では、平成19年に「情報共有」と「市民参加」を柱とする自治基本条例が制定されました。現在、住民自身が行政と協働し、まちづくりの主役となって地域課題を解決していく「市民自治」の取組みが進められています。その札幌市を舞台に、「住民協働」の抱える課題や今後の可能性について、検討するワークショップを開催いたします。

### 北海道札幌市の概要

札幌市（人口1,904,903人：平成22年4月1日現在）は、北海道最大の都市であると同時に、政治・経済の中心的都市として知られています。明治2年の開拓使設置、明治8年の屯田兵入植を契機に、基盤目状の計画的な都市建設が始まり、北海道開拓の拠点としての繁栄が始まりました。大正11年に市制を施行して以降は、周辺市町村との合併を繰り返し、昭和45年に人口が100万人を突破した後、昭和47年に政令指定都市へと移行しました。同年に開催された冬季五輪以降は、観光都市としても世界的に知られるようになってきました。近年では、行政による積極的な情報公開の取組みが高く評価されているほか、上掲の「市民自治」の取組みをはじめ、市民・企業による積極的なまちづくりへの参画が広くみられることから、全国から注目を集めています。



北海道札幌市



主任講師

石塚 雅明氏

(株)石塚計画デザイン事務所 代表取締役

1952年北海道札幌市生まれ。1977年北海道大学工学部大学院修士課程修了。1983年柳田石塚建築計画事務所設立。札幌市、横浜市、世田谷区、川崎市などのまちづくりの現場で、まちづくりワークショップなど様々な手法を用い、地域議論・合意形成に取り組む。また、札幌市、世田谷区、川崎市などにおいて、住民主体のまちづくり活動へのアドバイザリーやサポートを行っている。東京大学、名古屋大学において非常勤講師を歴任。著書に、『参加の「場」をデザインする～まちづくりの合意形成・壁への挑戦』（学芸出版社）、『まちづくり学-アイデアから実現までのプロセス-』（共著・朝倉書店）など。

研修会場 財団法人道民活動振興センター

(かでの27) 1040会議室

(札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル 10F) アクセス/JR札幌駅10番出口から徒歩10分 (北海道警察本部西隣)

7月

12日

13:30

開講式・オリエンテーション

Lecture 1 13:45

「市民自治に向けた協働のまちづくり」  
(総論・問題提起) 主任講師 石塚 雅明氏

Lecture 2 14:55

「札幌市における住民協働の取り組み」  
①自治基本条例とまちづくりセンターを拠点とした地域まちづくり  
特別講師 札幌市市民自治推進課 課長 横井 寿郎氏  
②市民によるまちづくり活動を支援する基金の創設(さぼーとほっと基金)  
特別講師 札幌市市民活動推進担当 課長 高橋 みゆき氏

Lecture 3 16:15

「住民やNPOとの協働の取り組み」  
①特別講師 石山まちづくりセンター 所長 間島 幸雄氏  
②特別講師 NPO法人コンカリーニョ 代表 斎藤 ちず氏

Lecture 4 17:35

「中間支援組織 市民活動サポートセンターの取り組み」  
～活気あふれる活動の拠点づくり～  
特別講師 札幌市市民活動サポートセンター 課長 岡本峰子氏

7月

13日

火

Panel Discussion 9:00

「今後の協働によるまちづくりの方向性」  
■コーディネーター  
主任講師 石塚 雅明氏  
■パネリスト  
石山まちづくりセンター 所長 間島 幸雄氏  
NPO法人コンカリーニョ 代表 斎藤 ちず氏  
札幌市市民活動サポートセンター 館長 岩崎 義純氏

Field Work 11:00

活動現場の視察、質疑応答

Group Work 1 15:30

視察結果のとりまとめ  
主任講師 石塚 雅明氏

7月

14日

水

Group Work 2 9:00 グループ発表・講評

主任講師 石塚 雅明氏

Lecture 5 11:15 (総括) 主任講師 石塚 雅明氏

11:50 閉講式

■講演者、研修内容など変更になる場合がございますので、予めご了承ください。なお、当センターのホームページでは随時、情報を更新しておりますので、ぜひご覧ください。■URL <http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp>

# 地場産業の再生による地域活性化

## Tsubame & Sanjo Area



### 趣旨

様々な活動がグローバル化する中、日本経済は首都圏一極集中を強め、アジア新興諸国の台頭に対応した製造業の海外移転を含む産業構造の転換により、国際競争力強化を図ってきました。

一方、地方では人口の流出と高齢化の進行によって経済の担い手が減少するなど、厳しい状況におかれており、各地でサービス・観光産業に活路を見出そうとする動きも活発化しています。

その中であって、新潟県燕三条地域では、地域資源を有効に活用するという観点から、江戸時代から培われてきたものづくりの技を核とし、企業間の連携による共同受注システムの構築などの様々な取り組みを通じ、地場産業活性化を推進しています。この燕三条地域の取組を参考にしながら、地場産業の再生の手法や仕組みづくりについて学び、今後の地域づくりについて考えていきます。



### 新潟県燕三条地域の概要(三条市・燕市)

三条市(人口104,877人:平成22年4月1日現在)は、新潟県のほぼ中央に位置し、市の北西部の市街を日本一の大河・信濃川と清流・五十嵐川が横断しており、豊富な水と肥沃な大地の恵みを受けて農業が盛んです。江戸時代より和釘、刃物などの金属製品を生産しており、「金物のまち三条」として全国的にも有名です。

燕市(人口83,469人:平成22年4月1日現在)は、新潟県のほぼ中央に位置し、信濃川と信濃川の分流である中ノ口川、西川に沿って形成されています。県下有数の工業地帯であり、金属洋食器、金属ハウスウエア製品は国内の主要産地となっています。また、良寛ゆかりの地でもあり、日本桜の名所100選の地大河津分水で行われる豪華絢爛な「おいらん道中」は有名です。



主任講師  
**小浦方 格氏**  
新潟大学地域共同研究センター 准教授

新潟大学工学部機械工学科卒業、新潟大学大学院工学研究科機械工学専攻修了。(株)ゼクセル(現:ポッシュ(株))入社。同社退職後、新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程入学。同大学院修了後、(財)新潟県県央地域地場産業振興センター(現:(財)燕三条地場産業振興センター)入職。地域企業の営業活動支援、産学連携研究推進等に携わる。2005年4月より、新潟大学地域共同研究センター助教授(現:准教授)に就任。大学の立場からの産学連携活動の推進を主な業務としているが、あわせて、地域産業の視点から災害復興に関して研究も行う。

### 研修会場(財)燕三条地場産業振興センター メッセピア5F 総合研修室

(新潟県三条市須頃一丁目17番地) アクセス/JR上越新幹線燕三条駅(燕側出口)から徒歩5分。北陸高速自動車道三条燕ICから車で5分。

9月6日	13:30	開講式・オリエンテーション
月		
Lecture 1	13:45	「いまさらものづくり?」 (総論・問題提起) 主任講師 小浦方 格氏
Lecture 2	14:35	「燕三条における地域活性化の施策について」 特別講師 (財)団法人燕三条地場産業振興センター 専務理事 塩浦 時宗氏
Lecture 3	15:35	「燕三条地域から世界へ スノーピーカーの実例」 特別講師 株式会社スノーピーク 代表取締役 山井 太氏
Lecture 4	17:05	「地域連携と地域資源で付加価値を創造」 ～磨き屋シンジケートの事例～ 特別講師 燕商工会議所産業観光課 参事 高野雅哉氏
9月7日		
火		
Panel Discussion	9:00	「燕三条の地場産業の展望」 ■コーディネーター 主任講師 小浦方 格氏 ■パネリスト 株式会社兼古製作所 代表取締役 兼古 耕一氏 株式会社山村製作所 代表取締役 山村 登氏 新越金網株式会社 代表取締役 山後 春信氏 株式会社玉川堂 代表取締役 7代目 玉川 基行氏
Field Work	11:15	活動現場の視察、質疑応答
Group Work 1	17:00	視察結果のとりまとめ 主任講師 小浦方 格氏
9月8日		
水		
Group Work 2	9:00	グループ発表・講評 主任講師 小浦方 格氏
Lecture 5	11:15	(総括) 主任講師 小浦方 格氏
	12:00	閉講式

■講演者、研修内容など変更になる場合がございますので、予めご了承ください。なお、当センターのホームページでは即時、情報を更新しておりますので、ぜひご覧ください。 ■URL <http://www.chiiki-dukuri-hyokka.or.jp>

# 文化・芸術によるまちづくり Shodoshima Town



## 趣旨

美しい自然や歴史・伝統に基づく文化芸術は、人々に精神的な豊かさや感動を与えるとともに、人々のコミュニケーションを活発化する力を持っています。また、その引き付ける魅力や社会に与える影響力が、経済活動において新たな需要や高い付加価値を生み出す源泉ともなっており、経済との関連性が密接となっています。



しかしながら、地方においては、過疎化や少子高齢化の進展等によるコミュニティの衰退と同時に、文化芸術の担い手不足が深刻となり、地域に根差した文化芸術の継承が危ぶまれています。さらに、厳しさを増す財政状況の中、文化芸術活動の安定的かつ継続的な展開が困難になると懸念されています。

そこで、18世紀の伝統芸能が脈々と現代へも引き継がれ、かつ新たな文化芸術の担い手育成を図っている小豆島町において、まちづくりにおける文化芸術の新たな視点の構築や、地域資源の活用について考えていきます。

## 香川県小豆島町の概要

香川県小豆島町（人口16,057人；平成22年4月1日現在）は、瀬戸内海国立公園に浮かぶ小豆島の中央から東に位置する、海と山の美しい自然に恵まれた町です。日本におけるオリーブ発祥の地として、また、壺井栄の小説を基にした映画「二十四の瞳」の舞台として全国的に知られています。その他にも日本三大渓谷美に数えられる寒霞渓、18世紀頃から現在に亘り伝承されている農村歌舞伎舞台など数多くの観光資源を有しています。産業としては、醤油、佃煮、素麺に代表される食品産業を中心に、農業、石材業など、豊かな地域資源を生かした観光関連産業やオリーブ製品の製造業も盛んです。昨今では、芸術家村構想を立ち上げ、文化・芸術をきっかけとしたまちづくりを展開しています。



主任講師  
竹内 守善氏  
香川県地域振興  
アドバイザー

1947年生まれ。1967年香川県庁に入庁。1972～75年香川県デザイン室勤務。地域振興や文化振興などにおけるデザイン戦略について研究・担当する。デザイン室以降は企画部や観光セクションなどでイベントや博覧会のプラン、観光指針、さぬき瀬戸地域振興ビジョンなど数多くのプランニングに携わる。2003年政策部地域振興課主幹（文化振興・瀬戸内海振興担当）を最後に退職。香川県から地域振興アドバイザーを委嘱される。四国新聞社客員論議委員、香川大学経済学部非常勤講師、東かがわ市ニューツーリズム協会顧問、直島町地域プランナーなどを務める。

## 研修会場 国民宿舎 小豆島

（香川県小豆郡小豆島町池田1500-4）※宿泊についても同会場となります。（宿泊費は自己負担となります）**アクセス**／バス・タクシー利用で／池田港より5分／草壁港より15分／土庄港より20分／坂手港より25分／福田港より45分／大部港より50分（当日は送迎バスを出します。時刻等の詳細は、別途お知らせします）※小豆島内の港まで／【四国方面】高松港より池田港・草壁港までフェリー60分、草壁港まで高速艇45分【大阪、神戸方面】姫路港より福田港まで小豆島急行フェリーで100分

9月 月 28日	13:45 開講式・オリエンテーション <b>Lecture 1 13:45</b> （総論・問題提起）主任講師 竹内 守善氏 <b>Lecture 2 14:55</b> ①小豆島町の芸術による取り組み事例 特別講師 小豆島町企画財政課 課長 松本 篤氏 ②芸術村及びAIR*について 特別講師 小豆島町社会教育課 課長 大下 淳氏 <b>Lecture 3 15:35</b> 「三都地区での文化芸術によるまちづくり」 特別講師 いいな!三都文化倶楽部 代表 河田義昭氏 <b>Field Work 1 16:15</b> 活動現場の視察、質疑応答
9月 火 29日	<b>Lecture 4 9:00</b> 芸術村でのAIRの活動について 第3回小豆島AIR 招聘アーティスト <b>Field Work 2 9:20</b> 活動現場の視察、質疑応答 <b>Lecture 5 11:00</b> 「まちづくりにおける芸術の役割」 瀬戸内国際芸術祭 総合ディレクター 北川 フラム氏 <b>Field Work 3 13:00</b> オリーブ公園周辺まちあるき 神下雄吉氏アトリエ サロン・ドートンヌ会員 サロン・ナショナル・デ・ボザール会員 神下 雄吉氏 旅館森口屋 代表取締役 丸柱 善朗氏 <b>Field Work 4 14:20</b> 中山農村歌舞伎舞台見学 中山農村歌舞伎保存会 会長 矢田 徹氏 瀬戸内国際芸術祭作品鑑賞 <b>Group Work 1 16:30</b> 視察結果のとりまとめ 主任講師 竹内 守善氏
9月 水 30日	<b>Group Work 2 9:00</b> グループ発表・講評 主任講師 竹内 守善氏 <b>Lecture 6 11:05</b> （総括）主任講師 竹内 守善氏 11:55 閉講式

\*AIR：アーティスト・イン・レジデンス。アーティストの滞在型創作活動、またその活動支援のシステム。

■ 講演者、研修内容など変更になる場合がございますので、予めご了承ください。なお、当センターのホームページでは随時、情報を更新しておりますので、ぜひご覧ください。■ URL <http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp>



## 都市農村交流を通じた地域づくり

## Tanabe City



## 趣旨

近年、わが国では、「限界集落」という言葉に象徴されるように、高齢化の進行はもちろんのこと、集落の自治や農地・水資源等の維持管理、農業・林業の担い手育成等、共同体としての機能を急速に失いつつある農山村も少なくありません。



こうした中、食の安全性への不安や低迷する食料自給率などの問題を通して、食の土台をなす農の営みや農山村での暮らしの価値を見直そうとする機運が高まり、都市と農山村との新たな交流・連携を推進する動きが広がっています。

そこで、地域内外の人々が連携し、農業や地域特有の文化などの資源を活用して、ソーシャルビジネスとしての事業性を確保しながら地域づくりを進める田辺市上秋津地区の事例を参考に、都市農村交流を通じた地域づくりの可能性について考えていきます。

## 和歌山県田辺市の概要

和歌山県田辺市（人口81,938人：平成22年4月1日現在）は、紀伊半島の南西側、和歌山県の南部に位置し、平成17年5月に1市2町2村が合併して誕生した紀南地方の自然豊かなまちです。神秘的で奥深い森林・溪谷、景観のよい海岸などの豊かな自然とそこから生み出される海川山の幸、特に梅・みかんは市を代表する特産物です。また、世界遺産

に登録された熊野古道・熊野本宮大社に代表される歴史や文化、日本三美人の湯で知られる「龍神温泉」や日本最古の湯といわれる「湯の峰温泉」等豊富な地域資源、観光資源を生かし、「自然と歴史を生かした新地方都市 田辺市」を目指しています。



主任講師

藤田 武弘氏

和歌山大学観光学部  
教授

1962年生まれ。大阪府立大学大学院農学研究科博士後修課程修了（農学博士）。大阪府立大学農学部助手・講師を経て、2007年から和歌山大学観光学部教授（現在、副学部長）。また、中国上海市農業科学院・北京農学院の客員教授も務める。

フードシステム論や地域農業論を専門分野とし、和歌山県グリーンツーリズム推進委員会座長や、近畿都市農村交流活性化塾理事等を兼務する。主な著書に、「地場流通と卸売市場」農林統計協会2000年、「食と農の経済学」ミネルヴァ書房2004年、「都市と農村」日本経済評論社（近刊）などがある。

## 研修会場 秋津野ガルテン

和歌山県田辺市上秋津 4558-8 アクセス/JR紀伊田辺駅からバスで15分 \*宿泊については、原則として民泊を予定しております。

10月 水 27日	14:00 開講式・オリエンテーション
Lecture 1	14:15 「都市農村交流を通じた“ふるさと再生”の可能性」 ～日本型グリーン・ツーリズムからの提言～ （総論・問題提起）主任講師 藤田 武弘氏
Lecture 2	15:15 「地域資源を生かした新地方都市づくり」 特別講師 田辺市企画部企画広報課 課長 松川靖弘氏
Lecture 3	16:05 「秋津野未来への挑戦」 ～秋津野地域づくりの系譜～ 特別講師 農業法人（株）秋津野 代表取締役副社長 玉井 常貴氏
Lecture 4	17:15 「秋津野型グリーン・ツーリズムとソーシャルビジネス」 ～きてら、秋津野ガルテン…～ 特別講師 農業法人（株）秋津野 代表取締役専務 木村 則夫氏
10月 木 28日	Lecture 5
	9:00 「「農」と地域の過去・現在・未来」 ～今後への戦略と人づくり～ 特別講師 秋津野地域づくり学校 校長 原 和男氏
	Field Work
	10:40 現場視察、質疑応答
	Group Work 1
	16:00 視察結果のとりまとめ 主任講師 藤田 武弘氏
10月 金 29日	Group Work 2
	9:00 グループ発表・講評 主任講師 藤田 武弘氏
	Lecture 6
	11:25 （総括）主任講師 藤田 武弘氏
	11:55 閉講式

■ 講演者、研修内容など変更になる場合がございますので、予めご了承ください。なお、当センターのホームページでは開催時、情報を更新しておりますので、ぜひご覧ください。 ■ URL <http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp>

きっとある  
気づきの芽

地域再生実践塾

2010 全国の地域づくり事例に学ぶ、集中3日間講義

# まちなかに人を呼び込む仕掛けと仕組み

## Kumamoto City



### 趣旨

全国各地の中心市街地では、少子高齢化や公共及び民間施設の郊外移転による衰退に危機感を持ち、地域の実情に応じた様々な活性化策が講じられています。

全国的に地域独自のまちづくり活動が進められる中、熊本市では、城下町としての魅力を高め、来街者のまちなか回遊を活性化させる創意工夫、例えば、街かどをステージとしたアートイベントの開催や、それらを支援する協議会の設置などまちなかに賑わいを創出する種々の取り組みが、商店街組織の枠を超えて展開されています。

そこで、熊本市のまちづくりについて、イベントなど活性化を促進する手法を「仕掛け」、エリアマネジメントなどの組織、制度づくりを「仕組み」と捉え、具体的事例を検証しながら、今後の中心市街地活性化の展望について検討します。



### 熊本県熊本市の概要

熊本県熊本市（人口728,332人：平成22年4月1日現在）は、熊本県の西北部に位置し、日本三名城の一つである熊本城を有する、肥後54万石の城下町です。また、清冽な地下水と「森の都」とうたわれる美しい緑に恵まれた街としても知られています。

産業構造は、市総生産額の約9割を占める小売・サービス業といった第3次産業が中心である一方、半導体産業、バイオ産業等の集積も見られます。また、良質な水を活かした全国でも高い生産性を誇る都市型農業が展開されています。

平成23年春の九州新幹線鹿児島ルート全線開業や平成24年の政令指定都市実現に向け、今後ますますの発展が期待されています。



主任講師  
溝上 章志氏

熊本大学教授（大学院自然科学研究科）  
熊本大学工学部まちなか工房代表

1955年生まれ。名古屋大学大学院工学研究科博士後継野野修了。工学博士。英国ケンブリッジ大学研究員（1990-1991）、フィリピン大学交通研究所、JICA長期派遣専門家（2000-2001）などを経て、1998年より現職。専門は交通計画・交通政策。

最近、まちなか工房代表として、熊本市圏を中心に、地域公共交通再生や中心市街地活性化のための交通まちづくり・エリアマネジメントに関する実践的研究に取り組んでいる。

### 研修会場 くまもと県民交流館パレア

（熊本市手取本町8-9テトリア熊本9,10階）アクセス／熊本市電水道町電停正面、または通町筋電停から徒歩3分

11月

17日

13:30

開講式・オリエンテーション

Lecture 1 13:45

「まちなか工房の活動から見える熊本の課題」

～まちづくりのための仕掛けと仕組み～  
（総論・問題提起）主任講師 溝上 章志氏

Lecture 2 14:55 仕掛け 1

「熊本ストリート・アートプレックス」  
特別講師 熊本ストリート・アートプレックス実行委員会 実行委員長 葉山 耕司氏

Lecture 3 16:20 仕掛け 2

「まちづくり熊本の活動・桜ノ馬場PFI戦略」  
特別講師 まちづくり熊本株式会社 代表取締役社長 丸本文紀氏（予定）

11月

18日

Lecture 4 9:00 仕組み 1

「中心市街地のエリアマネジメント」  
特別講師 熊本城東マネジメント株式会社 代表取締役 木下 斉氏

Lecture 5 10:40 仕組み 2

「地域景観づくりとしての町家再生」  
特別講師 株式会社人間都市研究所 代表取締役 富士川 一裕氏

Field Work 11:50 現場視察、質疑応答

特別講師 株式会社人間都市研究所 代表取締役 富士川 一裕氏

Group Work 1 16:00

視察結果のとりまとめ  
主任講師 溝上 章志氏

11月

19日

Group Work 2 9:00 グループ発表・講評

\*パネルディスカッション方式により講評  
■コーディネーター 主任講師 溝上 章志氏  
■パネリスト  
熊本ストリート・アートプレックス実行委員会 実行委員長 葉山 耕司氏  
熊本城東マネジメント株式会社 代表取締役社長 南 良輔氏  
株式会社人間都市研究所 代表取締役 富士川 一裕氏

Lecture 6 11:40

（総括）主任講師 溝上 章志氏

11:55 閉講式

■ 講演者、研修内容など変更になる場合がございますので、予めご了承ください。なお、当センターのホームページでは随時、情報を更新しておりますので、ぜひご覧ください。■ URL <http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp>

## 平成22年度 地域再生実践塾 参加申込書

申込書は切り取るかコピーしてご利用ください。なお、当センターのホームページからダウンロードできます。

URL <http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp>

必要事項をご記入の上、申込締切までに郵送またはメール、FAXで送付してください。

なお、申込受付後、受講決定の案内を送付します。届かない場合にはお手数ですが下記までご連絡ください。

参加希望 (○をご記入ください)	回	テーマ	開催地	開催日	申込締切
	第1回	まちづくりにおける協働の役割	北海道札幌市	7月12日(月)～14日(水)	6月21日(月)
	第2回	地場産業の再生による地域活性化	新潟県燕三条地域	9月6日(月)～8日(水)	8月16日(月)
	第3回	文化・芸術によるまちづくり	香川県小豆島町	9月28日(火)～30日(木)	9月7日(火)
	第4回	都市農村交流を通じた地域づくり	和歌山県田辺市	10月27日(水)～29日(金)	10月6日(水)
	第5回	まちなかに人を呼び込む仕掛けと仕組み	熊本県熊本市	11月17日(水)～11月19日(金)	10月27日(水)

フリガナ

氏名

性別

男・女

年齢

20代

30代

40代

50代

60代

その他

勤務先  
(団体名)

所属

役職

〒  
勤務先住所  
(団体所在地)

TEL

FAX

E-mail

※上記の勤務先住所(団体所在地)以外に資料等の送付を希望される方はご記入ください。

〒  
資料送付先

地域再生実践塾で解決したいあなたの地域の課題・問題点を具体的にご記入ください。

その他、質問等ございましたらご記入ください。

地域再生実践塾以外の地域活性化センター事業に関する情報提供について

希望する

希望しない